

いわら版

第146号 令和4年8月20日 発行元:結城地域農業改良普及センター

TEL: 0296-48-0184 FAX: 0296-48-2682







🐲 🐲 八千代町ブドウ講習会が開催されました!

7月22日、園芸研究所にて八千代町主催、普 及センター共催でブドウ栽培講習会が開催さ れました。5月24日に引き続き2回目の開催で、 シャインマスカット等ブドウ栽培に取り組も うとする生産者11名が参加しました。

園芸研究所および農業総合センター専技室 から、1回目は定植から房づくりまでの作業管 理について、2回目の今回は摘粒、袋掛け・傘 掛について実演を交えながら講習を行いまし た。その他、有利販売事例やシャインマス カットの販売状況などの説明がありました。

参加者は集中して説明を聞き、積極的に質 問するなど熱心に講習を受けていました。

今後も普及センターでは安定生産を目指し て、支援していきます。



シャインマスカット傘掛けの様子(園芸研究所圃場)



シロイチモジョトウの発生にご注意を!!



フェロモントラップ調査

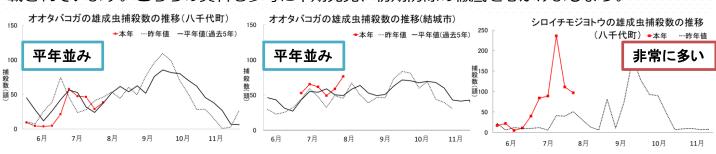
普及センターでは毎年、結城市、八千代町、JA北つくば、JA常総ひかりと連携してフェロモン トラップを利用したチョウ目害虫の発生予察に取り組んでいます。結城市、八千代町ではオオタバ コガとハスモンヨトウ、さらに八千代町では昨年からシロイチモジヨトウの調査を行っています。

今年の発生状況

8月上旬までの調査では、オオタバコガは平年並み〜やや多い発生数となっています(下図参 照)。オオタバコガ、ハスモンヨトウは今後9月から10月にかけて増加すると考えられます。後日 普及センターよりお知らせする一斉防除のタイミングで防除を徹底しましょう。

シロイチモジヨトウは**昨年に比べて多い発生**となっています(下図参照)。7月中旬に一度目の 発生ピークを迎え、その後も昨年より多く発生している状況です。

茨城県病害虫防除所HPでは、シロイチモジヨトウの主要薬剤の殺虫効果について試験結果が掲 載されています。こちらの資料も参考に早期発見、初期防除の徹底を心がけましょう。





シロイチモジヨトウ 主要薬剤の殺虫効果試験結果





県全域の発生予察等の情報もあるので参考にしましょう!



🚆 🖳 県西3地域による農業学園広域講座が開催されました! 📈 🚟



7月29日、筑西合同庁舎にて「病害虫・農薬基礎講座」が開催され、各地域(筑西・坂東・ 結城)の学園生13名が参加しました。

講座は2部構成で行われ、第1部では普及センターから病害虫防除の基礎について、県西地域 で見られる病害虫や防除のポイント、IPMの実例を交えた話があったほか、実際に被害サンプ ルを見ながら、病害虫診断の実習を行いました。

第2部では農薬基礎について、ラベルの確認方法や混同しやすい作物、農薬の種類などの話 がありました。

学園生からは「農薬や病気のメカニズムが知れてよかった」「今後の栽培管理に活かすこと ができる」などの声が聞かれました。



病害虫防除 グループワークの様子



病害虫診断の実習の様子



次回の農業学園広域講座は「土づくり講座」を9月に開催予定です。 ご興味のある方は、普及センターまでご連絡ください!



水稲スマート農業実践現地検討が開催されました!



7月15日、常総市で自動水管理システムとドローン追肥の実演を含むスマート農業実践現地 検討会を開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、生産者・関係機関を含め33名の参 加がありました。

自動水管理システム

農匠自動給水機と水田farmoについて農業総合センター とメーカーから機器の説明と自動給水の実演を実施しまし た。実証している牛産者からは導入したメリット・デメ リットについて「水回りのルートが一つ削減できたので時 間に余裕ができた。その反面で雑草の発生に気付くのが遅 れてしまったのは反省しとのお話がありました。



56aの圃場にドローンによる追肥を実演しました。約15 分のフライトで作業は完了し、オペレーターからは「今回 は試験だったので丁寧に散布したが、現場で行うときは シャッター開度を調整することでもう少し効率的に散布が 可能」と、今後の水稲栽培におけるドローンの利用拡大に ついて前向きな意見が得られました。



自動給水機の説明





熱中症対策のため、こまめな水分補給を心がけましょう 体調が悪くなる前に早めの休憩をしましょう